



家庭通信 11月号

2023年10月31日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

木々が色づき始め、紅葉が美しい季節になりました。子どもたちの公園帰りは、どんぐりや色のきれいな落ち葉など、この時期ならではの自然からの贈り物を手に、「ただいま」「ほら、見て」と特別な物を手に入れた嬉しい笑顔いっぱいでお帰園します。

今月も積極的に園外に出かけ、季節の移り変わりを身体全体楽しめる月にしていきます。

さて、「こどもあそび成長展」へは沢山の皆さんに参加していただきありがとうございました。アンケート結果も高評価が多く今後の指針となりました。成長展でも「段ボールコンポスト」のダンボちゃん活動をご紹介させていただきましたが、昨年に引き続き年長組の子どもたちが取り組んでいます。園内で出る給食の残菜を、土に入れると微生物の力で分解していき、ミネラルなどの栄養素で土を豊かにします。これをダンボール箱の中で再現するのが、ダンボールコンポストです。子どもたちはダンボちゃんが本当に生きているモノと感じて、毎日残菜を食べさせて大事にしています。自分たち年長組は殆ど給食を残さなくなるため、残菜はありません。そのためバケツを持って他クラスに行って残菜を回収します。そこで年少組の残菜の多さにびっくりして、自分たちの成長に気づいたり、ダンボちゃんの様子がおかしいと気づくと、鶴牧商店街のダンボクラブの方に聞きに行ったりしながら活動を続けてきています。この活動を通して子どもたちは微生物の力の不思議さはもちろん、地域の人との関わりを通して学ぶことも多くあります。最近では堆肥の利用について子どもたちとも話が広がり、今後も継続して行うことで更に色々な発展がみられそうです。今月24日には文部科学省、都道府県教育委員会主催、幼児教育の理解・発展推進事業の幼稚園教育研究協議会において当園のダンボちゃん活動を発表します。今後益々当園での幼児教育が充実し子どもたちの豊かな成長に貢献できるよう職員の学びの機会にもしていきたいと思っています。

近隣の小中学校ではインフルエンザの罹患者が増えています。寒くなると感染症も広がりやすくなりますので、基本的な感染症対策を徹底してまいります。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

11月のねらい

<年長>

- ・進んで戸外で遊び、十分に身体を動かしたり、ルールのある遊びの面白さを味わったりする。
- ・自分なりの目当てやできるようにになりたいことに、繰り返し挑戦し、できるようになったことを喜ぶ。
- ・友だちと考えや思いを出し合い協力したり、役割分担したりしながら目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。

<年中>

- ・健康に過ごすために必要な習慣が分かり、自分から進んで行おうとする。
- ・身近な自然に触れ、興味を持ったり取り入れたりして遊ぶ。
- ・気の合う友だちと誘い合い、場を作ったり、遊び方を決めたりして、自分たちなりに遊びを進めようとする。
- ・色々な友だちと関わり、一緒に遊ぶ中で、相手にも思いや考えがある事を知り、耳を傾けようとする。

<年少>

- ・身の回りのものを丁寧に扱おうとする。
- ・保育者や友だちと同じ場で一緒に身体を動かすことを楽しむ。
- ・保育者や友だちに自分の気持ちや思っている事を言葉で伝えようとする。
- ・色々なものになりきってごっこ遊びを楽しむ。

<2歳児>

- ・保育者の見守りや関わりのなかで、自分のことを話したり、周りの話を聞いてみたりする楽しさを感じる。
- ・身近な秋の自然物を使って、見立て遊びをしたり試したりすることを楽しむ。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています